

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス尻手		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35人	(回答者数) 26人
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 27日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1対1の個別トレーニングと小集団でのトレーニングを全職員が実施でき、カリキュラムに沿うだけでなく、それぞれの経験から児に必要な内容を考えることができる。	担当制にせず、全職員が全児を意識できるよう、まんべんなく関わりが持てるような体制を取っている。	外部研修への参加や資格取得支援の充実をしていきたい。
2	利用児、保護者と話をさせていただく機会が多い。	児の様子を確認しながら話ができる時間を設け、話しやすい関係性を作れるよう努めている。また、保護者にも積極的に話しかけることで、相談しやすい関係作りを意識している。	定期的な保護者面談はもちろん、児にも面談できる時間を多く設定していく。
3	各職員が自分の強みを支援に活かすことができる。	普段のトレーニングやイベントの中で、職員が経験してきたことや得意なことを活かせる活動を設定できるようにしている。	イベントの拡大(外部や保護者も楽しんでいただける内容を)。職員の自己肯定感を高めていけるような活動の充実。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部との連携。	保護者を通して連絡が取れる関係作りを行っているが、先方から断られてしまうことが多く、先に進めなくなってしまうことが多い。	事業所がどのような活動をしているのか、子どもたちとどのように関わっているのか、なぜ連携を取りたいのか、もっと積極的に伝えていく。
2	職員間の連携。	今まで、経験豊富な職員の意見が強く、新規採用した職員が意見を言いづらいところがあった。 個別のトレーニングをメインに行っていたことで、個で何とかしようとしてしまうことがある。	スーパーバイズを取り入れ、全ての職員が発言しやすい環境を設定する。
3	整理整頓。	物、場所に対する職員の意識差。	各職員の意識改善をしていくために、当番や係など責任を持って取り組めるように環境設定していく。